

Monologue

Concrete,
Stone & Brick

BIO STONE
WA'S PLATE
WA'S PIECE
GRANIS STONE
PINCORO
WA'S ROCK
SAZARE

VINTAGE RENGA
ZARATTO RENGA

SABIJI^[ai]
CEDAR PLATE
TENNYSON PAVER
LIVIO^[ai]+
BRAVO



Mono-Logue

黒はささやく。

黒という色を、人は、見えているのに、見ていない。

見ているのは、濃淡だけのその色が

静かに寄り添い、引き立てる、あざやかな別の色彩たち。

けれどもそこに、その色は確かにある。

道端のほの暗い影の色。雨に湿った土の色。

霧の向こうの山々の色。半紙に落ちた墨の色。

艶やかに光をはじく漆器の色。

同じ色はひとつもなく、どれもが違う、温度や、匂いや、

手ざわりまでも伝えている。

黒のグラデーションがささやく物語りに、

耳をすましたとき。

暮らしを包む、無限の彩りに気づいたとき。

目に映る景色が、変わり始める。

SPECIAL INTERVIEW

竹原 義二

無有建築工房

くろとしろ 玄と素

素材の可能性と職人の技を最大限に生かし、唯一無二の建築を創り出してきた、建築家・竹原義二氏。歩みを止めず進化を続ける竹原氏に、光と陰が生み出す色彩の可能性について伺った。

いい素材は、時間と友達になれる。

建築にしても食事にしてもすべては「素材」から成り立っています。時代とともにあり方は変わったが、人は常に美しいもの、本物の素材を求めています。私達はこの日本に建築物を建てているわけだから、選ぶなら四季の変化を感じることができる素材、つまり日本の風土にあった素材がいい。建築群が周囲の環境へ与える影響は大きいですから。建築群、という言葉を使いましたが、そうなんです、建築は単体で考えてはいけません。エクステリアも含めて建築群として捉える必要があります。周辺環境との調和を考える上で、建築群の素材選びはとても重要になってくる。そしてもうひとつ大切なのが、時間との関わり方。選んだ素材が経年変化を味方につけられるかどうかということですね。素材を見るときに「きれい」とか「美しい」とかと言うけれども「きれい」と「美しい」はちょっと違う。

「きれい」は出来上がった時が一番で、時間と共にどんどん劣化してしまうもの。一方で、「美しい」は時を経て、その良さ、美しさがにじみ出てくるもの。だから「時間と友達になれる素材」が最良なんです。その意味でユニソンさんが今回テーマにされた黒という色は時とともに経年変化で美しくなる、いい素材だと思います。

いんえいらいさん 陰翳礼讃と職人の技。

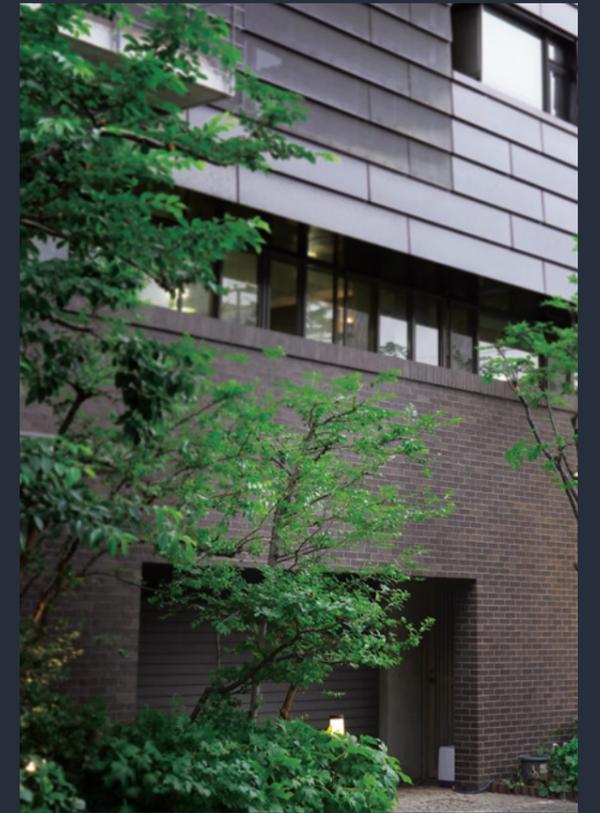
色というものを語る前にまずもって語るべきは、光と陰ですね。色は光が無ければ存在しないですから。素材と光との関わりの中で生まれるのが、陰翳です。文豪、谷崎潤一郎が「陰翳礼讃」の中で日本の良さは陰翳を上手く使うことだと言っています。僕も光がもたらす陰によって素材の表情を最大限に引き出したいから、素材選びとテクスチャーの作り込みには、相当な時間と

手間を費やします。その手間を惜しまないことで新しい表現方法を生み出すことができます。これはディテールの追求に真剣に付き合ってくれる職人達がいるからこそ実現できることで、こういった陰翳にこだわるという取り組みを通じて日頃注目されることが少ない彼らにもスポットライトが当たり、職人の技が伝承されていくんです。

そして、陰翳がモノトーンという色を生む。モノトーンとかモノクロの世界は想像力を掻き立ててくれます。総天然色の世界よりも繊細さが伝わってくるように私は思う。たとえば、モノクロ写真に写されている着物なんかを見ていると「この柄は赤なんかなあ？いや、黒だったらカッコエエなあ」とか、見る側の感性を刺激してくれるから想像がどんどん膨らんでいく。無彩色だから地味なイメージがあるのかも知れないけど、却って想像力を豊かにしてくれるのがモノトーンの世界ですね。

くろとしろ 玄と素の間で、変幻自在に遊ぶ。

「黒」は「玄」とも書くことができる。玄の下に「人」を付けたら「玄人」になる。その対極が「素」であり「素人」。日本にはそれらに安易に優劣をつけず、それぞれの良さを理解して上手く取り入れてきた文化があると思います。「幽玄」や「玄人好み」など「玄」を重視する言葉があるかと思えば、伊勢神宮のように「白木」で20年に一度まっさらな建物に建て替える「素」を尊ぶ文化も継承してきた。つまり「玄」と「素」をずっと昔から上手く使いこなしてきたんです。コンクリートはグレーだから、玄と素が混在しているグレーゾーンだね(笑)。



グレーというのは曖昧という意味ではなく、確立したそのものの色だと思います。視点を変えれば、陰翳はグレーという色を持っている。黒や白だけでは平面な印象になるが、影、つまりグレーがあることで趣きや立体的な印象を与えられる。黒やグレー、白といったモノトーンという色は、そこにある物と対比されることで際立ち、なおかつ色が物を引き立たせる。そこがまた面白いところなんです。みんなモノトーンの世界で自由に遊んだらいいと思う。たとえばこのカタログが、色と素材を切り口にしてエクステリアで自由に遊べる、新たな料理人をつくるきっかけになることを期待したい。僕も、どの物件でも必ず遊んで、新しいチャレンジを織り込んでいようとしています。2021年8月に竣工するユニソンの大阪事業所の建築ではさまざまな素材を使って新たなチャレンジをしていますので、みなさんに観に来てもらいたいですね。



無有建築工房 竹原 義二

1948年徳島県生まれ。建築家石井修氏に師事した後、1978年無有建築工房設立。30余年の設計活動の中で、住宅を中心に180を超える作品を手掛け、日本建築学会賞教育賞・村野藤吾賞・都市住宅学会業績賞・こども環境学会賞など多数受賞。



01

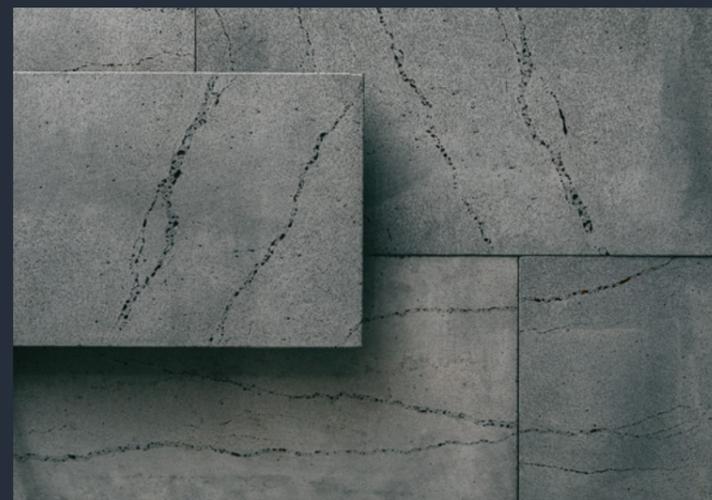
BIO STONE

ピオストーン／ボルカグレー、オーシャングレー

石に浮かぶ波の形や、不規則な窪みが見るのは、
火山から流れ出て固まるまでの長い道のり。

黒の色味は、水に濡れるとあっさり深く艶めき、
雨が多い日本の風景を美しく見せる。

「天然石」





02

WA'S PLATE WA'S PIECE

ワズプレート・ワズピース/クマノ

歴史の重みを感じる天然石の中でも

その黒はすっきりと深く、硬い質感に品格が漂う。

正方形や短冊型のリズムカルな組み合わせで

格式がありつつ、軽やかで洗練された風情に。

| 天然石 |



03

GRANIS STONE

グラニストーン/サージグレー

日本で好まれる花崗岩の中でも、濃いめの色調と流れるような文様が印象的な素材を厳選。

自然が描き出すデザインの、
単調すぎない、心地よい存在感。

| 天然石 |



05

WA'S ROCK

ワズロック/ココウ

流れるうちに
さまざまなものを混ぜ込み、
黒く固まった火山岩。
違った個性を持つ石たちがつくる、
趣きある佇まい。

| 天然石 |



04

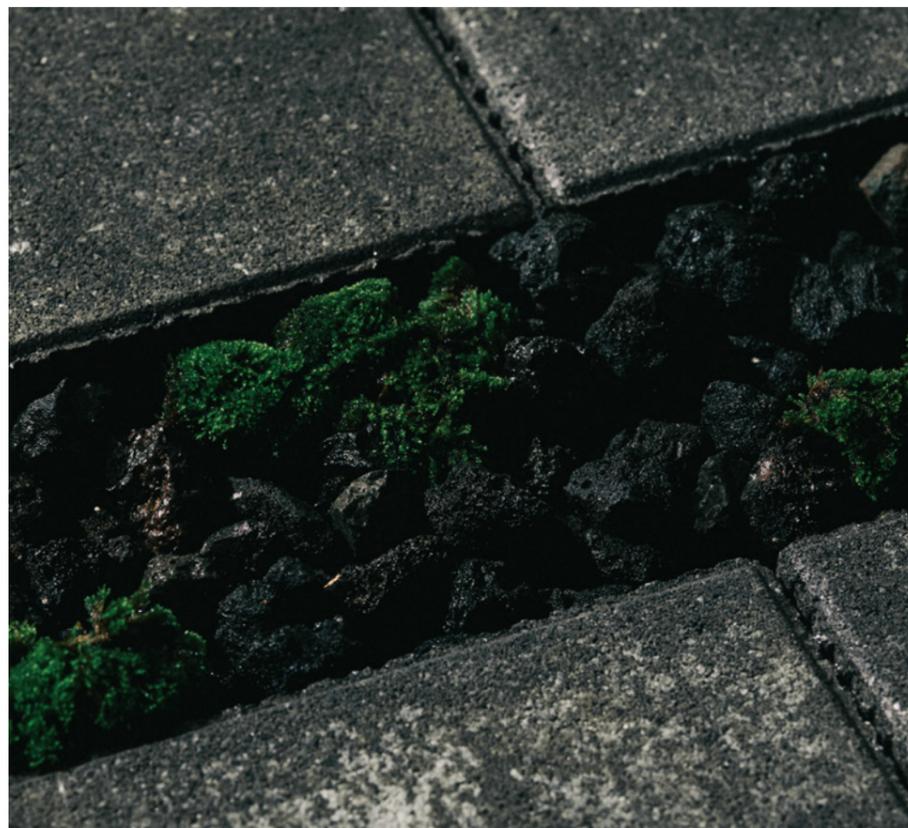
PINCORO

ピンコロ90/ランダムグレー

天然石を石目にそって手作業で割り剥した
不規則な形と、現れる石目模様の面白さ。

縁取る、敷く、飾る、自由な用途に
小さいながらも“使える”逸材。

| 天然石 |



06

SAZARE

サザレ/黒孔

火山岩でできた砂利石たち。
よく見ればいろいろな黒があり、
形もいろいろ。
まわりで茂る草や木と馴染んで
情景に変化を与え、生命を吹き込む。

| 天然石 |

07

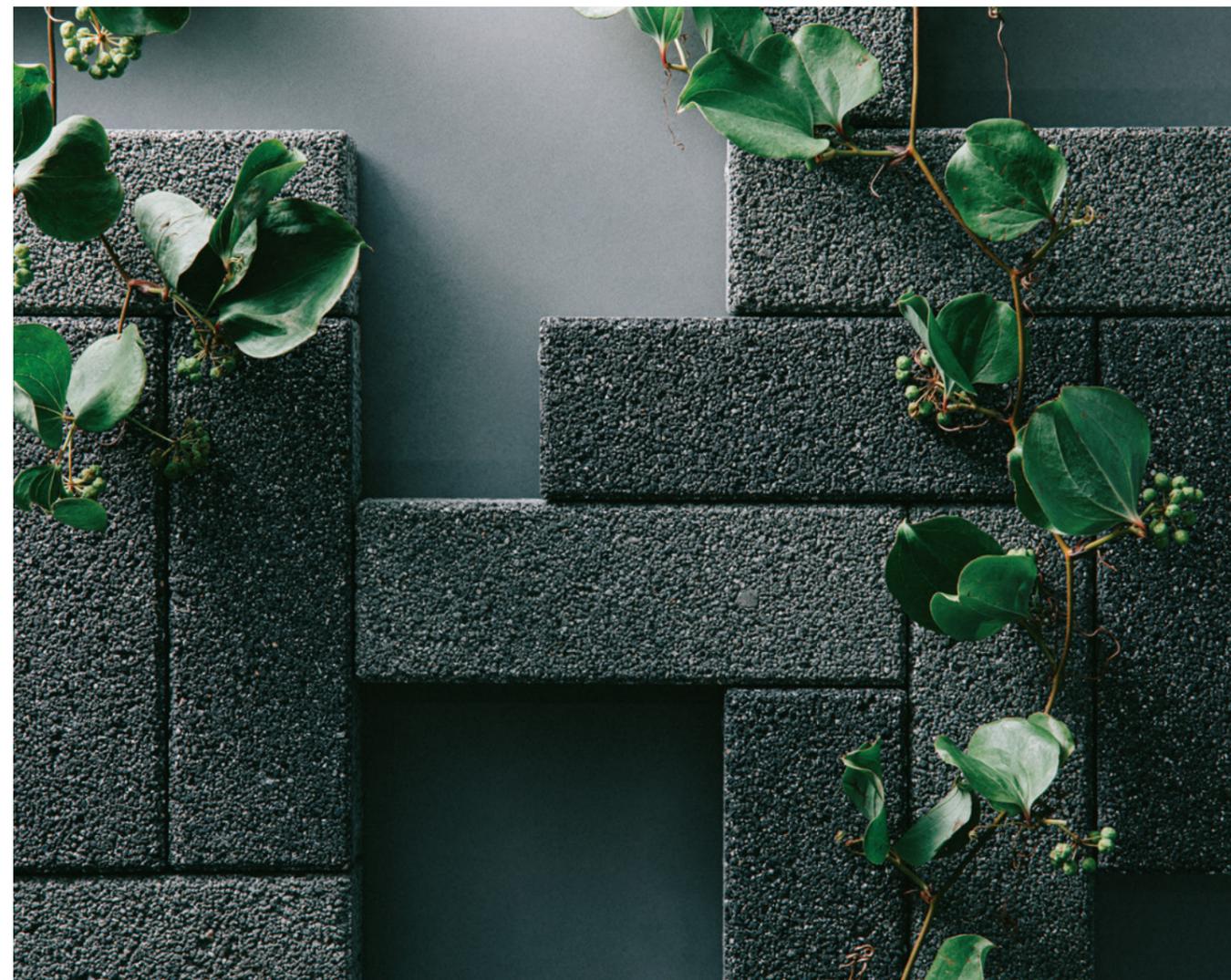
VINTAGE RENGA

ヴァンテージレンガ/クールミックス

古い建築物を解体して得られる、
黒色のヴァンテージレンガ。欠けや汚れが
経てきた時間を物語り、新しい景色の中に
懐かしさという味わいを添える。

|レンガ|





08

ZARATTO RENGA

ザラットレンガ/黒

黒く燻しあげた色と、レンガのザラついた質感が、

洗練と温もりを同時に感じさせる。

さらに、細長い形状を生かした配列によって

空間はレトロにも、モダンにも。

|レンガ|



09

SABIJI [ai]

サビジ[ai] 透水60/墨、鈍

「四十八茶百鼠」と謳われる

日本の伝統色を採り入れ、繊細な色彩を表現。

形状が同じザラットレンガと

組み合わせれば、素材違いの妙を楽しめる。

|コンクリート製|



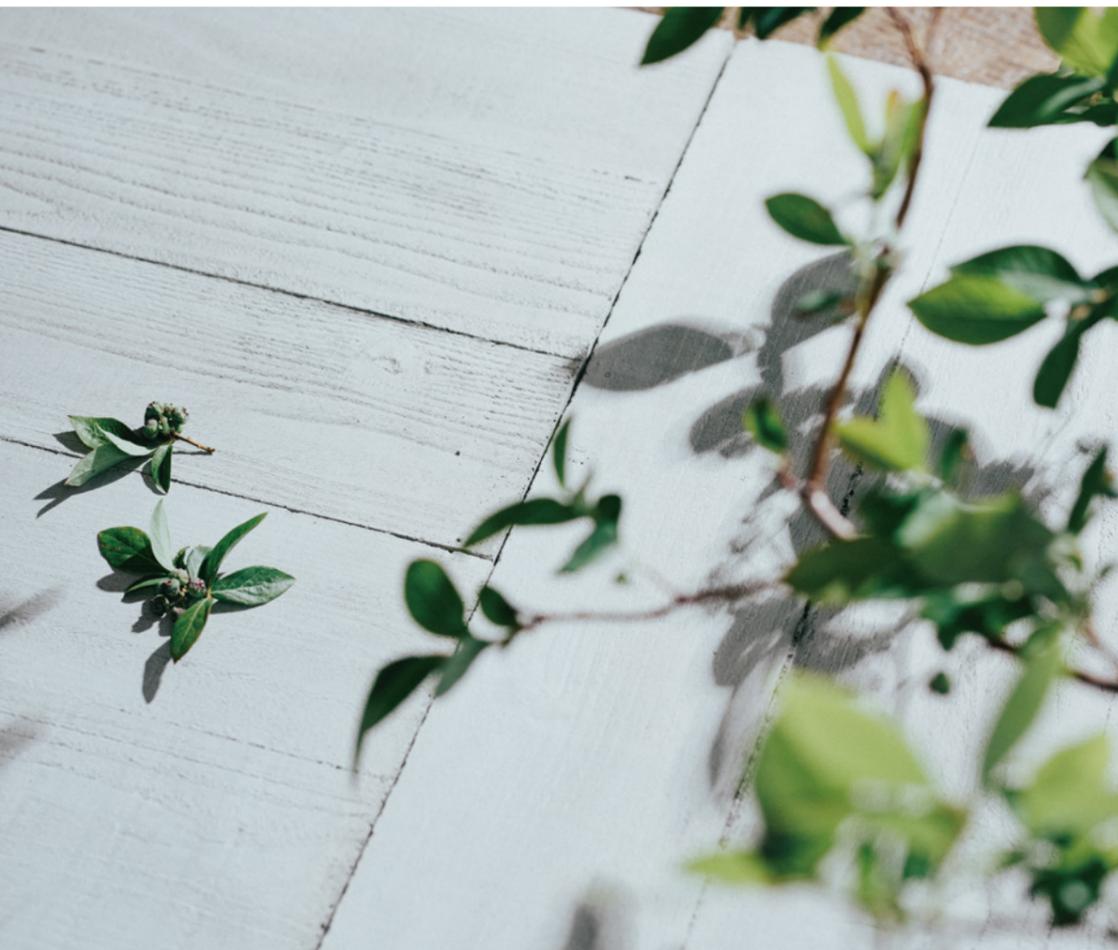
10

CEDAR PLATE

シダープレート/ラフグレー

杉板の木目をコンクリートに再現し、
独特の表情に。
近づくと見えてくる細やかな意匠が
植栽や住宅と調和した風景をつくる。

| コンクリート製 |



11

TENNYSON PAVER

テニソンペイパー/セピアグレー

古くから愛される大理石「トラバーチン」の模様を
コンクリートに再現し、自然界にはない
グレー系のトラバーチンを表現。
柔らかな陰影が、不思議な存在感を醸し出す。

| コンクリート製 |



12

LIVIO^[ai]+

リビオ^[ai]プラス60・リビオ^[ai]ステッププラス60／ブライトブラック

コンクリートの概念を覆す深みのある色調が、

マジカルテクトによって実現。

大きな色ムラが、面を広くとらえた

よりダイナミックな表現を可能に。

| コンクリート製 |

マジカルテクト

天然石に近い、濃く深い色調ときらめきを

コンクリートで実現したユニゾン独自の加工技術。

褪色・汚れも抑制し、独特の質感を永く保ちます。



13

BRAVO

ブラーボ・ブラーボステップ/ブライトブラック、ブライトシルバー

マジカルテクトによる豊かな濃淡や

しっとりとした風合いが生む、独特の世界。

「ブラーボステップ」を組み合わると、

階段まで含めた空間全体が時を経ても美しく保たれる。

| コンクリート製 |

マジカルテクト

天然石に近い、濃く深い色調ときらめきを

コンクリートで実現したユニゾン独自の加工技術。

褪色・汚れも抑制し、独特の質感を永く保ちます。



INFORMATION

モノトーンカタログ「Mono-Logue」は、モノトーンのアイテムをセレクトして、掲載しています。

下記に掲載以外の規格やカラーバリエーションもありますので、詳細はQRコードよりホームページをご覧ください。

また価格については、ホームページに掲載のWEBカタログをご覧ください。

01: BIO STONE

※2021年9月発売予定

天然石

商品名	詳細スペック	色	サイズ(L×W×Hmm)
ビオストーン／プレート		ボルカグレー〈火山岩〉 オーシャングレー〈火山岩〉	約1,200×約600×約60 約600×約300×約30 約300×約300×約30

02: WA'S PLATE / WA'S PIECE

天然石

商品名	詳細スペック	色	サイズ(L×W×Hmm)
ワズプレート		クマノ〈玄武岩〉	約1,220×約610×約60 約290×約290×25~35 約440×約90×25~35
ワズピース			約90×約90×25~35

03: GRANIS STONE

天然石

商品名	詳細スペック	色	サイズ(L×W×Hmm)
グラニスストーン／プレート		サージグレー〈花崗岩〉	約1,220×約610×約60 約600×約300×約40 約300×約300×約40

04: PINCORO

天然石

商品名	詳細スペック	色	サイズ(L×W×Hmm)
ピンコロ90		ランダムグレー〈硬質砂岩〉	約90×約90×約90

05: WA'S ROCK

天然石

商品名	詳細スペック	色	サイズ(mm)
ワズロック		ココウ〈火山岩〉	180~250 80~150

06: SAZARE

天然石

商品名	詳細スペック	色	サイズ(mm)
サザレ		黒孔(こっこう)〈火山岩〉	粒径10~40

07: VINTAGE RENGA

レンガ

商品名	詳細スペック	色	サイズ(L×W×Hmm)
ヴィンテージレンガ		クールミックス	235×110×50

08: ZARATTO RENGA

レンガ

商品名	詳細スペック	色	サイズ(L×W×Hmm)
ザラットレンガ		黒	約300×約100×約50

09: SABIJI^[ai]

コンクリート製

商品名	詳細スペック	色	サイズ(L×W×Hmm)
サビジ ^[ai] 透水60		墨(すみ) 鈍(にび)	300×100×60

10: CEDAR PLATE

コンクリート製

商品名	詳細スペック	色	サイズ(L×W×Hmm)
シダープレート		ラフグレー	約1,200×約400×約40 約800×約400×約40

11: TENNYSON PAVER

コンクリート製

商品名	詳細スペック	色	サイズ(L×W×Hmm)
テニソンペイバー		セビアグレー	595×295×38 445×445×38 295×295×38

12: LIVIO^[ai]+ ◆Magical Tect

※2021年10月発売予定

コンクリート製

商品名	詳細スペック	色	サイズ(L×W×Hmm)
リビオ ^[ai] プラス60		ブライブラック	300×300×60
リビオ ^[ai] ステッププラス60			

13: BRAVO ◆Magical Tect

コンクリート製

商品名	詳細スペック	色	サイズ(L×W×Hmm)
ブラーボ		ブライブラック ブライシルバー	400×400×45
ブラーボステップ			

素材の可能性を広げる新技術

「マジカルテクト」の詳細は
ホームページをご覧ください。



商品・その他に関するお問い合わせは、最寄りの営業所までご連絡ください。

[拠点] 名古屋・静岡・豊田・岐阜・三重・北陸・大阪・

京都・阪和・阪神・姫路・岡山・広島・福岡

[生産拠点] 豊田・京都

[ホームページ] www.unison-net.com

※連絡先はユニソンホームページをご覧ください。

